

日本テニス界の 歴史と伝統を築いた レジェンドたち 女子



宮城黎子 日本のテニス界発展に貢献したことで2001年ITFから日本女性として初のブロンズ (AWARD FOR SERVICES TO THE GAME) を受賞。全日本・単10回(8連勝)の優勝は、男女を通じて最多。複11回、混合9回、合計30個。福井昭子選手達と出場した1958年東京アジア大会を始め、62年ジャカルタアジア大会、66年バンコクアジア大会で、単・複・混合合わせて、金メダル4、銀メダル2を獲得。64年~82年フェドカップ代表監督6回。元フェドカップ代表選手。日本女子テニス連盟の発展他、数々の足跡を残し、その熱意は現在も力強く息づいている。

全日本から世界へはばたい選手たち



沢松和子

4連続通算5回の単、複1回優勝。75年のウィンブルドン ダブルスにアン・清村と組んで日本女性初優勝の快挙。

加茂幸子

連続6回を含む単8回、連続3回を含む複5回、混合3回、16個のタイトルを保持。

52年より日本女性初の全米出場4回を経て54年にはウィンブルドンに出場、最高3回戦に。



伊達公子



単3回、複2回、混合1回優勝。96年フェド杯でグラフに劇的な初勝利。同年のウィンブルドンでは日没順延の2日がかりの対戦でグラフに惜しくも敗れた。

全日本の歴史を紡いだ名選手



①第1回女子シングルス優勝の黒井梯子 ②朝吹磯子 ③安宅登美子 ④岡田早苗、山岸久子組 ⑤村上智佳子、畠中君代 ⑥左手都志子 ⑦高木陽子、黒松和子、宮城黎子 ⑧佐藤直子、米沢そのえ、野村貴洋子、古橋富美子、宮城黎子 ⑨後藤秀子、福岡加余子、畠中君代、沢松和子、吉岡利治監督 ⑩井上悦子、柳昌子、岡川恵美子 ⑪沢松奈生子 ⑫遠藤愛 ⑬雉子牟田直子、神尾米 ⑭小畑沙織、森上亜希子、浅越しのぶ、杉山愛、小浦武志監督 ⑮平木理化、M. プバン (印) 組 (全仏ミックス優勝)

日本のテニス文化を守り、育てるために